

愛媛大学における PPA 等を活用した太陽光発電設備導入に係るサウンディング型市場調査 の対話結果の公表について

令和6年12月13日

本学への PPA 等を活用した太陽光発電設備導入について、民間事業者との対話を通して今後の太陽光発電設備導入事業者公募に係る条件の参考とすることを目的としてサウンディング調査を実施しました。本調査の結果を取り纏めましたので、その概要を公表します。

1. (サウンディング対象の土地、建物等)

敷地：愛媛大学城北団地

所在地：愛媛県松山市道後樋又 10 番 13 号、文京町 2 番 5 号、文京町 3 番

敷地面積：152,131 m² 建築面積：44,621 m²

2. サウンディングの実施スケジュール

令和6年 9月 2日	サウンディング実施要領の公表
令和6年10月29日～令和6年10月30日	ヒアリングの実施
令和6年12月 13日	サウンディング結果概要の公表

3. サウンディング結果の概要

- ・応募参加者：3グループ
- ・主な意見

- 小規模な建物に設置すると経済効率が悪化するため、一定規模以上の建物に集中設置することが望ましい。
- 一般的な契約単価は示せるが、具体的な契約単価の見積りは建物を提示して現地調査を行う必要がある。
- 契約終了後は、契約を1年毎に更新する形の再契約が事業者としては対応しやすい形式である。
- 防水工事については、太陽光発電を設置する際に全面改修を行うのが理想であるが、設置部分のみの部分改修も現実的な選択肢である。なお、施工方法によっては、設置後でも防水全面改修は可能である。
- 施設の屋根に太陽光設備を設置する計画となっているが、駐車場に設置できるソーラーカーポートの検討も可能である。

4. サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディングにより、文京地区において PPA 事業化の可能性は確認できたものの、「契約単価の見積りを算出するためには具体的な建物を提示して現場確認が必要」等のご提案をいただきました。

今後、サウンディング結果を踏まえて、本学側で PPA 事業を計画する具体的な建物を選定し、事業公募の実施に向けて検討を進めます。